

# 河川取水口における石油関連汚染物のモニタリング

## 用途

事故で発生した河川の炭化水素汚染を取水口でモニタリング

## ユーザー

北イングランドの水道会社

## 解決を求められた問題

2013年の初め、この地方で石油化学製品工場からオイルが河川に流れ出る事態が発生。この地方の水道会社が河川の水を調べたところ炭化水素の高い値が検出され、フィルターやパイプの洗浄などのコストが高く、水道供給停止に追い込まれた。

## 採用された装置

MS1200 : 標準タイプ、センサー用 4-20 mA出力、サンプリングシステム、アラーム、障害リレーを装備

## MULTISENSORが選ばれる理由

ユーザーは濁度に変化する河川の炭化水素の測定に信頼性の高い方法を望んでおり、MS1200の測定システムがひどい濁りの水でも高い性能を発揮できた。

## 設置状況

取水する河川から70m離れた場所にある建物に設置され、15分おきに水に含まれる炭化水素とVOCの検査が行われた。検出された値が上がるとアラームが発動し必要な処置がとられるようになった。設置されたシステムのおかげで、今までにこの水道会社の水の安全を守るケースが2回あった。



設置された装置はPLCに接続されており、PLCは逐次データを保存し、事故が発生した場合にアラームを作動させて取水口のポンプのスイッチをオフにします。

PLC: プログラマブル・ロジック・コントロール